

平成 29 年 4 月 28 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都中央区銀座六丁目 8 番 7 号
フロンティア不動産投資法人
代表者名 執行役員 永田 和 一
(コード番号：8964)

資産運用会社名
三井不動産フロンティアリートマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤山 吾 朗
問合せ先 取締役財務部長 岩本 貴 志
TEL. 03-3289-0440

DBJ Green Building 認証の取得に関するお知らせ

本投資法人は、「サステナビリティに関する方針」を掲げ、日頃から環境負荷の低減や地域コミュニティとの共生・連携に取り組んでまいりましたが、このたび保有する 4 物件（ららぽーと新三郷、ララガーデン春日部、ギンザ・グラッセ、池袋スクエア）について、平成 29 年 4 月 28 日付で DBJ Green Building 認証を取得いたしましたので、お知らせいたします。

なお、「三井ショッピングパークららぽーと新三郷」については、「1 つ星」から「5 つ星」にランク分けされる評価の中で、最高位の「5 つ星」の評価を受けました。

記

1. DBJ Green Building 認証の概要

DBJ Green Building 認証制度（以下「本制度」といいます。）とは、環境・社会への配慮がなされた不動産（「Green Building」）を支援するために、平成 23 年 4 月に株式会社日本政策投資銀行が創出した認証制度です。対象物件の環境性能に加えて、防災やコミュニティへの配慮を含む様々なステークホルダーへの対応を含めた総合的な評価に基づき、社会・経済に求められる不動産を評価・認証し、その取り組みを支援しているとされています。

なお、本制度の内容等については以下をご参照下さい。

DBJ Green Building 認証制度に関する運営サイト：<http://igb.jp/>

2. DBJ Green Building 認証における評価ランク

物件名	所在地	評価ランク (注)
三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷	埼玉県三郷市新三郷ららシティ 三丁目 1 番 1 号	★★★★★
三井ショッピングパーク ララガーデン春日部	埼玉県春日部市南一丁目 1 番 1 号	★★★
ギンザ・グラッセ	東京都中央区銀座三丁目 2 番 15 号	★★★

池袋スクエア	東京都豊島区東池袋一丁目 14 番 1 号	★★★
--------	--------------------------	-----

(注) 5つ星は「国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされたビル」、3つ星は「非常に優れた「環境・社会への配慮」がなされたビル」であることの認証とされています。

- (1) 三井ショッピングパークららぽーと新三郷（埼玉県三郷市新三郷ららシティ三丁目1番1号）
大型複合都市「新三郷ららシティ」の中核を担う三井不動産が開発・運営するショッピングセンター



敷地面積: 85,153.29 m²
延床面積: 136,161.36 m²
竣 工: 平成 21 年 8 月



- (2) 三井ショッピングパークララガーデン春日部（埼玉県春日部市南一丁目1番1号）
食品スーパーを核にバラエティ豊かな専門店により構成される近隣型商業施設



敷地面積: 22,380.27 m²
延床面積: 56,897.33 m²
竣 工: 平成 19 年 10 月



- (3) ギンザ・グラッセ（東京都中央区銀座三丁目2番15号）
三井不動産が重点展開する銀座エリアに位置する都心型商業施設



敷地面積: 634.82 m²
延床面積: 7,201.80 m²
竣 工: 平成 20 年 3 月



(4) 池袋スクエア（東京都豊島区東池袋一丁目14番1号）

日本有数の商業地である池袋の中でも最も繁華性の高いサンシャイン60通りに位置する都心型商業施設



敷地面積: 1,511.22 m²

延床面積: 11,957.75 m²

竣 工 : 平成 24 年 11 月



3. 認証において評価を受けた点

- (1) 共用部のLED化を進める他、BEMS（注）の導入を実施する等、積極的な省エネルギー対策がなされている点
- (2) 子供関連設備が充実している他、ららぽーと新三郷においては、電気自動車用充電機の設置を行う等、多様な消費者ニーズに対応した高い利便性を有している点
- (3) 従業員向けの水・食料などの備蓄がなされていることに加え、24時間有人での警備体制が構築されている等、防災・防犯への取り組みが行われている点

（注）Building Energy Management Systemの略。ビルの機器・設備等の運転管理によってエネルギー消費量の削減を図るシステムです。

4. 投資法人の今後の対応

本投資法人は、今後も、保有物件に対して環境・省エネルギー対策やエネルギー利用の効率化に取り組み、環境への配慮と環境負荷低減に向けて対応を進めて参ります。

なお、詳細につきましては以下をご参照下さい。

本投資法人のウェブサイト：<http://www.frontier-reit.co.jp/summary/csr/initiative.html>

以上

* 本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

* 本投資法人のウェブサイト：<http://www.frontier-reit.co.jp/>